



本紀要1号掲載の拙稿の訂正について

メタデータ	言語: ja 出版者: 大阪公立大学大学史資料室 公開日: 2024-01-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 西田, 正宏 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/0002000197

本紀要1号掲載の拙稿の訂正について

西田正宏

昨年度刊行された『大阪公立大学史紀要 第1号』に、資料紹介ということで、拙稿「山崎文庫・森文庫の魅力と課題 —大阪公立大学蔵古典籍の資料性—」を寄稿したが、その三〇(六二)頁上段4行めから15行めに、誤った記載があり、それを左のように訂正する。また紹介した資料には、既に高橋育子氏による翻刻・解題が具わっていた。このことに言及しなかったことをお詫び申し上げる。この点を含め、今回の誤りについては、浅田徹氏よりご教示いただいた。記して感謝申し上げます。

【もとの原稿】

例えば、「諸家集」として「911/SHO/森文庫」として整理されているものは、三冊ある。そのうち二冊(上・下)は江戸時代初期の書写と思われる牡丹花肖柏の『春夢草』である。外題は「諸家集」となっているが内題に『春夢草』とあるにも関わらず目録では「諸家集」という外題が採用されている。もう一冊はそれらとは全く体裁も異なるもので、かなり新しい表紙に「諸家集」と記されている。この一冊は、冒頭は「巻第十一恋哥一」とあり藤原実方の題不知の歌から始まる。歌の並びと奥書から、『定家八代集』の一本

であることが確認される。書写は江戸初期の零本であり、研究史上、どのように位置づけられるのかは、専門の研究者の判断を仰ぐしかないが、その組上に載せるためにも、「諸家集」と題された一冊が『定家八代集』の一本であるという情報が必要であろう。

【訂正版】

例えば、「諸家集」として「911/SHO/森文庫」として整理されているものは、三冊ある。そのうち上・下二冊でまとまっているものは、「上冊」は江戸時代初期の書写と思われる牡丹花肖柏の『春夢草』であり、「下冊」は文明期の連歌を集めたものである。「下冊」については、高橋育子氏による翻刻・解題が具わっている(「宗祇出座百韻の新出資料について(上)・(下)」—大阪市立大学森文庫蔵「諸家集」(『連歌俳諧研究』104・105))。もう一冊はそれらとは全く体裁も異なるもので、かなり新しい表紙に「諸家集」と記されている。この一冊は、冒頭は「巻第十一恋哥一」とあり藤原実方の題不知の歌から始まる。歌の並びと奥書から、『定家八代集』の一本であることが確認される。書写は江戸初期の零本であり、研究史上、どのように位置づけられるのかは、専門の研究者の判断を仰ぐしかないが、その組上に載せるためにも、「諸家集」と題された一冊が『定家八代集』の一本であるという情報が必要であろう。